



2018年10月29日

記者各位

出光興産株式会社

徳山事業所におけるバイオマス発電事業について

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:木藤 俊一 以下、当社)は徳山事業所(所在地:山口県周南市、所長:八山 光秀)において、バイオマス発電所の事業化検討を開始しましたのでお知らせいたします。

徳山事業所は、1957年に出光初の製油所として操業を開始いたしました。それから57年後、2014年3月にエネルギー供給構造高度化法に伴い石油精製機能を停止し、現在は化学事業の主力拠点として競争力強化に向けた取り組みを実施しています。

当プロジェクトは製油所跡地と既存の地域インフラを利用するものであり、今後徳山事業所は、新たに地球温暖化防止を目的とした非化石エネルギーの活用拠点としても生まれ変わる予定です。

当プロジェクトは発電出力が5万kWと大型であるため、営業運転開始後暫くは、燃料として再生可能エネルギーである輸入木質ペレットとパーム椰子殻(PKS)を使用します。中長期的には間伐材や製材端材等、国産材へのシフトを進める予定です。これにより、環境保全に配慮した持続可能な森林づくりと林業再生、地域振興、循環型経済の構築と発展を目指します。

当社ではエネルギーを取り巻く環境変化を踏まえ、エネルギー源の多様化とベストミックスの構築により、日本のエネルギーセキュリティへの貢献と再生可能エネルギー事業を推進してまいります。

【発電所概要】

1. 場 所: 山口県周南市新宮町2200番地(出光徳山事業所内)
2. 発 電 出 力: 50,000キロワット
3. 年間発電規模: 3億6千万kWh(約10万世帯分の電力)
4. 燃料使用量: 約23万トン/年
5. 使 用 燃 料: 輸入木質ペレット, パーム椰子殻(PKS)※
6. CO2削減量: 約23~30万トン/年
7. 事 業 内 容: バイオマス発電事業(再生可能エネルギー固定価格買取制度活用)
8. 営業運転開始時期: 2022年度内(目標)

※PKS(Palm Kernel Shell)パーム椰子の殻の部分。パーム油を生産する過程で発生する農作物残さ廃棄物。

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報室広報課(瀧本) TEL:03-3213-3115

URL <http://www.idemitsu.co.jp>

【参考】

1.当社における既存バイオマス発電事業

会社名	所在地	発電出力	営業運転開始	使用燃料	出資比率
土佐グリーンパワー株式会社	高知県 高知市	6,250kW	2015年4月	未利用材	出光興産 50% とさでん交通 25% 高知県森林組合連合 25%
株式会社 福井グリーンパワー	福井県 大野市	7,340kW	2016年4月	未利用材 一般材	神鋼環境ソリューション 70% 出光興産 10% 九頭竜森林組合 10% ニューチップ運送 10%

2.位置図

